

## すべての子どもが学びやすい開隆堂の教科書づくり

東京家政大学教授 半澤嘉博



通常の学級には、障害などにより学習面で個別の配慮が必要な子どもも在籍しています。新しい学習指導要領でも、教科指導における個別の支援の具体例を示しているところです。

開隆堂の教科書は、子どもの認知特性の違いや特別支援教育の観点などから、だれもが理解しやすいような配慮や工夫が随所になされています。例えば、実技を伴う教科では、QRコードですぐに動画を見ることができるようになっています。また、文章表記において、できるだけ単語や文節が途中で改行されないようにして、一目読みしやすいように配慮しています。

さらに、教科書に合わせて発行される教師用指導書には、教師が行う個別配慮の観点や実際のヒントも、数多く掲載されていますので、ご活用ください。

### 開隆堂の教科書の特色

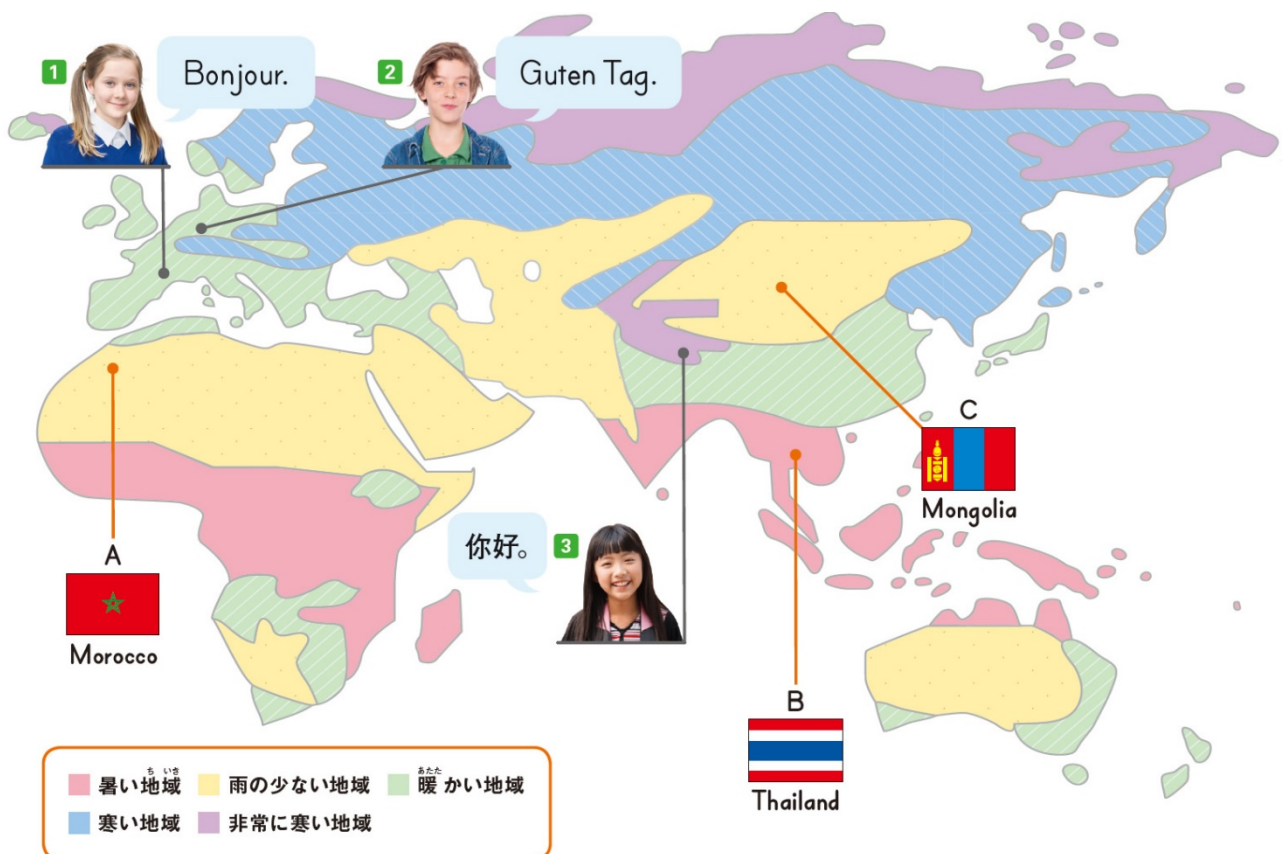
①単語や文節が行をまたがないように改行位置を工夫して、文章や語彙の意味が、一目で理解できるようにしています。特に、子どもが音読する際の読みやすさや理解やすさが決定的に違ってきます。

#### ①<sup>ぬの</sup>布について知ろう

布は糸を織<sup>お</sup>ったり、編<sup>あ</sup>んだりして作った物で、生活になくてはならない材料です。はだざわりやじょうぶさ、しなやかさなどの特徴<sup>とくちょう</sup>が異なる<sup>こと</sup>いろいろな布があります。

②色覚に困難さのある子ども（約5%）にも識別しやすいように、できるだけ背景に色を重ねないようにするなど、色の使い方について配慮しています。

③図表の認識性を高めるために、カラーユニバーサルデザインの基準に基づいた配色の配慮をしています。特に、暖色と寒色の対比に留意し、グラフや図表の違いに気づきやすく配慮しています。



④実技を伴う教科では、教科書を読んだだけでは、実際にどのような活動や動作を行えばよいのかが分かりにくいことがあります。図画工作科と家庭科の教科書では、教科書に掲載されたQRコードをコンピュータで読み取ると、すぐに動画を見ることができるようになっています。



図画工作 3・4 上 できたらいいな p.21 QRコードおよび動画画面

⑤家庭科の教師用指導書には、左利きの子どもへの配慮として、左利きで行う場合の動画も収録してあります。

⑥紙面のつくりかたとして、視覚的な認識の観点から、上下より左右の方の移動の認識の優位性に基づき、調理や裁縫などの作業の手順をできるだけ横一列で展開しています。

ご飯 (手順の写真は4人分)

**材料と分量**(1人分のめやす)

米……80g (100mL)  
水……120g (120mL)  
(水は、米の重さの1.5倍、体積の1.2倍)

必要な調理用具を確かめよう。

文火なべ    ボウル  
ざる        しゅもじ  
計量カップ

**1 米をはかり、洗う**

はかった米を、3・4回水を変えてかき回しながら、洗う。

米は、洗っている間にも吸水するので、手早く洗う。

洗った米をざるに移して、水を切る。

**2 水をはかり、吸水させる**

水を切った米と水をはかった水をなべに入れ、よく吸水させる。

吸水 (30分間以上)

時間は変化をて4人分をたくときのため

ガラスなべの写真は、なべの中にご飯がたけるようすを示している。

ふっとうの状態や水が引いた状態などを観察しよう。

**3 たく** QR

①点火し、ふっとうするまで強火にする。

②ふたがゴトゴト動き、湯気が出てきたら中火にする。

③水が引いて、ふたが動かなくなったら弱火にする。

強火 (2・5分間くらい) → 中火 (5・7分間くらい) → 弱火 (15分間くらい)

安全 やけどに注意しよう。

**4 蒸らす**

④火を消し、蒸らす。10分間くらいふたを開けない。

⑤軽く混ぜ、かわいたふきんをかけてふたをする。

強火 (10分間くらい)

**5 盛りつけ・試食・後かたづけ**

盛りつけて試食をする。食器やなべは、水につけておくと洗いがしやすい。

なぜ、蒸らしが必要なのだろう。

わたしたちの家庭科 p.50-51 手順

⑦外国籍の子どもへの配慮として、教師用指導書に日本特有のキーワードの簡単な説明を収録したり、各単元の内容説明を7か国語に翻訳した文章を収録したりしています。